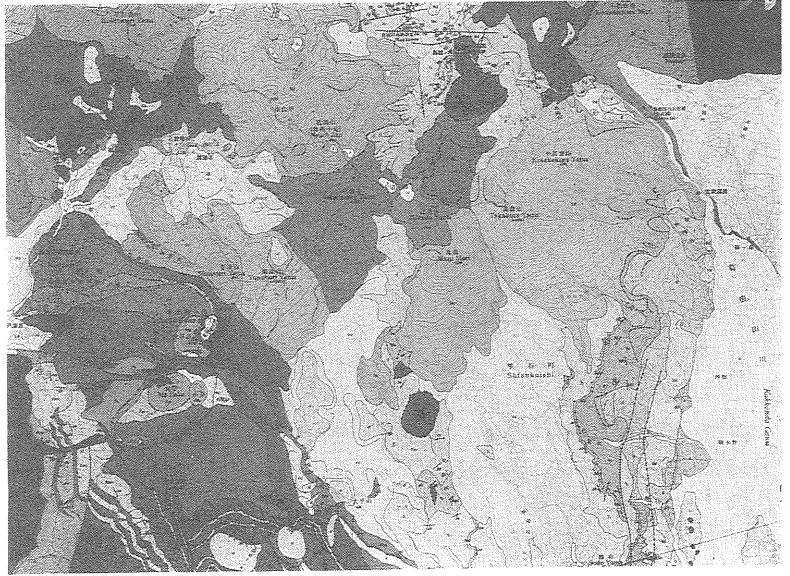


雫石図幅は盛岡図幅と田沢湖図幅の間に位置し 東北脊梁山脈にまたがっています。この地域には白亜紀以降の様々な岩石が分布し またいろんな地質現象がみられます。平野部は南東端の雫石盆地に限られ 残りは山岳地域です。そのうち南の約1/3には花崗閃緑岩と新第三系が露出していますが 残りは新しい火山噴出物に覆われています。東北端には岩手山の南斜面が また中央西寄りには秋田駒ヶ岳が位置し 独特の火山地形が認められます。

図幅地域南西端に露出する生保内花崗閃緑岩は 約1億年前の岩石で 岩体は断層でいくつかのブロックに断ち切られていることもあり 急峻な地形を示しています。この花崗閃緑岩を基底礫として含む新第三系の最下部層が生保内層です。この地層は緑色に変質した火山岩からなります。成層構造があまりみられず 全体の構造がわかりにくくなっています。生保内層の上には下位から国見峠層 竜川層 小志戸前沢層及び山津田層が順次重なります。これら4層は整合で 約1,100-800万年前に推積したと考えられます。砂岩・シルト岩・凝灰岩と玄武岩一流紋岩の溶岩及び貫入岩からなります。きれいな成層構造が認められる場合もありますが マップなこともあり また地層は膨縮し 各岩相のユニットはあまり広く連続して分布していません。山津田層の上には外沢層 南白沢層 葛根田川火砕岩類及び玉川溶結凝灰岩が累重し それぞれの基底には不整合が認められます。玉川溶結凝灰岩は北隣の八幡平図幅内に噴出口があった大規模珪長質火砕流堆積物で 200万年前に噴出した石英を多く含む流紋岩と 100万年前に噴出したデイサイトが認められます。新第三系の大部分は旧国道46号線沿いで見られます。新しい国道沿いの露頭は大部分コンクリートで



覆われています。

さて図幅地域の中央の大部分は乳頭・高倉火山群と秋田駒ヶ岳の火山噴出物で覆われています。これらはいずれも新しい火山なので 火山地形がよく残されています。特に秋田駒ヶ岳は 山頂に2つのカルデラがあり その中の中央火口丘群や岩脈などは火山の学習にもってこいのフィールドを提供してくれます。中央火口丘の1つ女岳では1970-71年に噴火が起こり カルデラ内に溶岩が流出し この火山がまだ元気に生きていることを示しました。

火山と関連した地熱・温泉の活動も見逃せません。近年地熱の調査が精力的に行われ 1978年に出力5万kwで運転を開始した図幅北端の葛根田地熱発電所の隣には現在2つ目の地熱発電所が建設中です。また乳頭温泉や網張温泉付近でも試験が行われるなど 多くのデータが得られています。地熱資源と火山との関係は必ずしもすべてが明らかにされているわけではありませんが 地質図を手には太古の岩石や新しいエネルギーについて思いを巡らすのも楽しいものです。



5万分の1地質図幅の新刊

雫石
SHIZUKUISHI

5万分の1地質図幅 地域地質研究報告



著者 須藤 茂・石井武政
 発行 工業技術院 地質調査所
 取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809 262-1401
 そのほか全国主要書店
 販売価格 2,400円

地質ニュース	第406号	6月号
	定価 ¥ 650	〒実費
昭和63年6月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒102	
	Tel. (03)265-0951(代表)	
	振替口座 東京1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	
	出版事業部	